

令和7年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (低)・パステル、絵の具、はさみなどの基本的な用具の正しい扱い方を学習しながら、楽しく表現活動をすることができた。
- (中)・発想をアイデアやイメージスケッチとしてまとめ、それを各題材の表現に生かし、絵の具やはさみ、カッターナイフなどの基本的な用具の正しい扱い方を確認しながら、表現活動を展開することができた。
- (高)・表現するために必要なものを調べてスケッチしたり、参考資料などからヒントを得たりしながら、イメージをまとめ、絵の具や特殊な筆、刷毛などの用具を総合的に扱い表現活動を展開することができた。

(2) 課題

- (低)・意欲的に活動する児童は多いが、集中力の足りない児童もいる。用具などの基本的な扱いや片付けができない児童が少なくない。
- (中)・題材に対して活発に反応を見せ、意欲的に取り組む児童は多いが、題材の趣旨をよく理解しないで活動している児童や用具などの基本的な扱いや片付けができない児童もいる。
- (高)・自分の考えているイメージを作品の中に取り込んで制作できる児童は多いが、なかなかイメージがまとまらず作品制作が遅れる児童もいる。また、表現に適した用具や技法を選べる児童が少ない。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料に慣れたり、用具の扱い方を知ったりするとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫し創造的に表すことができるようにする。	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから、自分のイメージをもち、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えることができるようにする。	・楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して創造的に表すことができるようにする。	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、自分のイメージを膨らませ、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えることができるようにする。	・すすんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して創造的に表すことができるようにする。	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、自分のイメージを広げ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを感じ、用途を考えながら、どのように主題を表すかについて考えることができるようにする。	・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。